

# かわごえ 市議会だより

中核市・川越



スマイルシティ・川越



第1回定例会初日に市政方針を述べる川合善明新市長

平成21年  
第1回定例会  
第2回臨時会

## 川合善明新市長の市政方針に対して質疑を行いました。

平成21年川越市議会第1回定例会は、2月25日開会され、会期は29日間で、57件の案件を審議し、3月25日閉会しました。なお、4月16日に平成21年川越市議会第2回臨時会が開催されました。

目次	
市長提出議案	(2)・(3)
請願	(3)
一般質問	(4)~(8)
特集 川合善明新市長の市政の方針を受けて	(8)~(11)
議会構成	(12)
市庁舎建設特別委員会	(12)
広報・図書室委員会	(12)
議場コンサート	(12)
第2回臨時会	(12)

- ▼ 二月二十五日 議案四十件提出。許可一件・選任二件採決。議案一件・市庁舎建設特別委員会附議事件一件・請願一件採決。
- ▼ 二月二十七日 市政方針に対する質疑。
- ▼ 三月二日 市政方針に対する質疑。議案質疑。
- ▼ 三月三日 議案質疑。
- ▼ 三月四日 議案質疑。
- ▼ 三月五日 議会運営委員会。
- ▼ 三月六日 一般質問。
- ▼ 三月九日 一般質問。
- ▼ 三月十二日 一般質問。
- ▼ 三月十三日 一般質問。
- ▼ 三月十六日 四常任委員会。
- ▼ 三月二十五日 議案四十件採決。追加議案一件・同意十件採決。等。

## 定例会の経過



○平成21年度会計別当初予算

(単位:千円)

区分		平成21年度 (千円)	平成20年度 (千円)	
一般会計		102,320,000	100,120,000	
特別会計	国民健康保険事業	33,274,600	31,257,400	
	老人保健医療	29,533	3,579,990	
	後期高齢者医療	2,507,600	2,579,300	
	診療事業	282,200	301,000	
	介護保険	13,336,000	12,150,900	
	母子寡婦福祉資金貸付	70,000	70,000	
	公共地下駐車場	163,700	218,000	
	農業集落排水	569,200	360,500	
	企業会計	水道	9,105,506	8,952,838
		公共下水道	9,039,860	9,007,805
特別会計小計		68,378,199	68,477,733	
総計		170,698,199	168,597,733	

市長提出議案

今定例会では、五十一件の議案が提案されました。主な概要は次のとおりです。

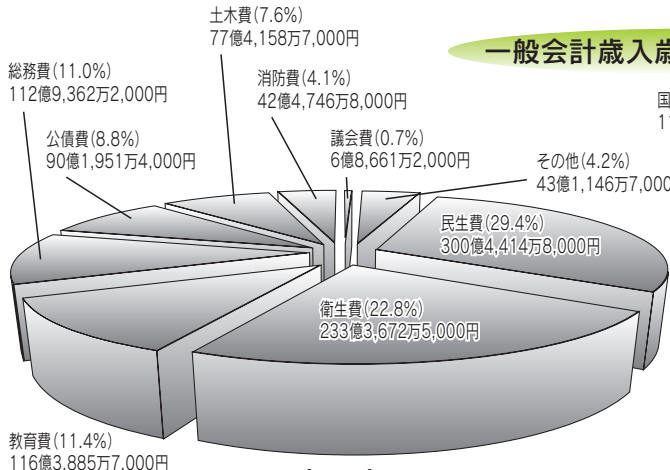
平成二十一年度当初予算

▽平成二十一年度川越市一般会計予算など当初予算十一件  
平成二十一年度予算は、市長選挙の実施に伴い、骨格予算となつていきます。

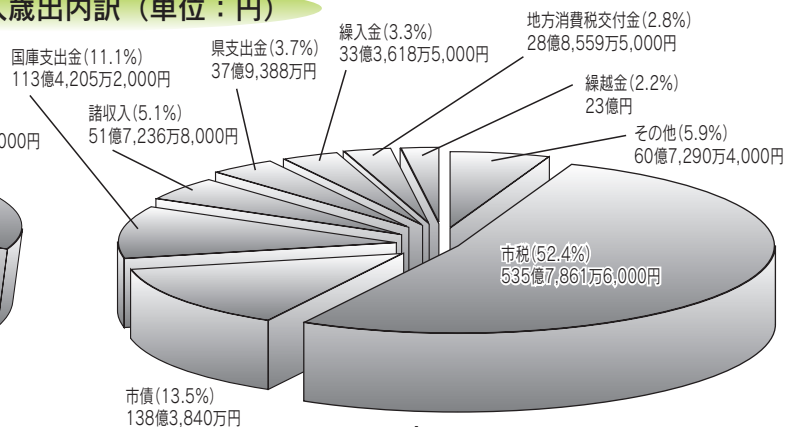
平成二十一年度の一般会計と特別会計を合わせた総額は、一千七百六億九千八百九十九万九千円(対前年度比一・二%増)となります。内訳は、一般会計一千二十三億二千万円(対前年度比二・二%増)、特別会計十会計の合計六百八十三億七千八百九十九万九千円(対前年度比〇・一%減)。



一般会計歳入歳出内訳 (単位:円)



歳出



歳入

【一般会計の主な事業】

- 都市交通政策推進
- 地域振興ふれあい拠点施設整備
- 防犯のまちづくり推進
- 障害者相談支援事業
- 公立保育園耐震診断
- 新斎場建設事業
- 新型インフルエンザ対策
- 妊婦健康診査
- 新清掃センター建設
- 緊急地域雇用対策事業
- 就労等支援事業
- 主穀作振興
- 商店街振興対策補助
- 鏡山酒造跡地暫定活用支援事業
- 「つばさ」推進協議会
- 中央通り地区整備
- なぐわし公園整備
- 川越駅南大塚線
- 生活道路(市道)改良
- 広域幹線道路(市道)整備
- 市営住宅等管理
- 地上デジタル放送受信設備改修
- 仮称名細地区統合公民館建設
- 中高一貫教育の調査・研究
- 河越館跡整備
- 本丸御殿保存整備

骨格予算とは…  
本来予算は、その年度の歳入・歳出すべてについて、年間を見通して編成されるべきものです。しかし、地方公共団体の長や議員の選挙時期などの関係から政策的な判断ができていく事由により、政策的経費などの予算計上を避け、人件費などの義務的経費を中心に必要最小限の経費を計上する予算編成が行なわれます。



# 条例

▽ 川越市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例を定めることについて

内容は、介護従事者の処遇改善を図る等の目的で行われる平成二十一年度の介護報酬改定に伴う介護保険料の上昇を抑制するため、国から交付される介護従事者処遇改善臨時特例交付金を原資に基金を設置するものです。

▽ 川越市介護保険条例の一部を改正する条例を定めることについて

平成二十一年度から二十三年度までの介護保険料率を定め、四月一日から施行するものです。

▽ 川越市市営住宅条例の一部を改正する条例を定めることについて

主な内容は、市営住宅への暴力団員の入居を制限する等、入居資格の要件を見直す他、埼玉県住宅供給公社による管理代行制度を導入するものです。



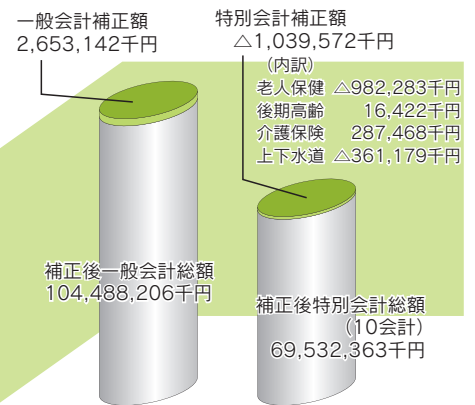
# 補正予算

今定例会では、一般会計補正予算一件、特別会計補正予算五件を審議しました。

▽ 平成二十年度川越市一般会計補正予算(第三号)

【主な内容】

- ・法人市民税法人税割等の減少による歳入の減額
- ・小中学校耐震補強事業に係る国庫補助金等の増額
- ・定額給付金給付事業に係る国庫補助金等の増額



# 請願

▽ 後期高齢者医療制度の中止、廃止を求める意見書の提出

# 提出を求める請願書

— 継続審査 —

平成二十年第五回定例会に提出された請願です。

# 追加議案

▽ 川越市職員退職手当条例の一部を改正する条例を定めることについて

改正の内容は、他の地方公共団体の地方公務員から引き続いて副市長となった者の退職手当の支給について規定したものです。



# 人事

十件の人事案件が追加提出され、左表の通り各人を委員等に、それぞれ同意しました。

副市長	大野 英夫 氏
副市長	石川 稔 氏
教育委員会委員	星野 明德 氏
教育委員会委員	新井 孝次 氏
教育委員会委員	長谷川 均 氏
教育委員会委員	後藤 佳子 氏
監査委員	江田 俊雄 氏
公平委員会委員	福岡 一枝 氏
公平委員会委員	佐々木 修 氏
固定資産評価審査委員会委員	落合 正治 氏

# 議決結果一覽

<平成20年12月定例会からの継続審査の議案>

◆ 南大塚駅南口自転車駐車場の指定管理者の指定について — 否 決 —

<平成21年 3月定例会の議案>

◆ 川越市個人情報保護条例の一部を改正する条例を定めることについて — 原案可決 —

◆ 川越市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて — 原案可決 —

◆ 川越市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて — 原案可決 —

◆ 川越市災害対策本部条例の一部を改正する条例を定めることについて — 原案可決 —

◆ 川越市介護従事者処遇改善臨時特例基金条例を定めることについて — 原案可決 —

◆ 川越市介護保険条例の一部を改正する条例を定めることについて — 原案可決 —

◆ 川越市子ども医療費支給に関する条例等の一部を改正する条例を定めることについて — 原案可決 —

◆ 川越市衛生関係事務手数料条例の一部を改正する条例を定めることについて — 原案可決 —

◆ 川越市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて — 原案可決 —

◆ 川越市地区計画区域内における建築物の緑化率の最低限度に関する条例を定めることについて — 原案可決 —

◆ 川越市市営住宅条例の一部を改正する条例を定めることについて — 原案可決 —

◆ 川越市再開発住宅店舗条例の一部を改正する条例を定めることについて — 原案可決 —

◆ 川越市公民館設置条例の一部を改正する条例を定めることについて — 原案可決 —

◆ 川越市東部地域ふれあいセンターの指定管理者の指定について — 原案可決 —

◆ 包括外部監査契約について — 原案可決 —

◆ 川越市道路線の認定についてなど8件 — 原案可決 —

◆ 平成20年度川越市一般会計補正予算(第3号)など補正予算6件 — 原案可決 —

◆ 平成21年度川越市一般会計予算など11件 — 原案可決 — (追加議案)

◆ 副市長の選任につき同意を求めることについて2件 — 同 意 —

◆ 教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて4件 — 同 意 —

◆ 監査委員の選任につき同意を求めることについて — 同 意 —

◆ 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて2件 — 同 意 —

◆ 固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて — 同 意 —

◆ 川越市職員退職手当条例の一部を改正する条例を定めることについて — 原案可決 —

# 市政に関する 一般質問

今定例会では、25名の議員が一般質問を行いました。発言した全議員の質問及び答弁の一部要約を掲載(氏名下の数字は発言順番)しました。問と答の後には、各議員が今定例会で質問した表題(問)を掲載しています。質問した表題は、紙面の都合上、通告事項を要約したものとなっています。一般質問の詳細や、過去の質問は、会議録をご覧ください。

### 【会議録の閲覧について】

平成二十一年十一月定例会の会議録は、図書館、出張所、議会ホームページ等で閲覧できます。今定例会の会議録については、図書館等では五月下旬頃から、議会ホームページ上では七月上旬頃から閲覧できます。○会議録をご覧いただけます。

- ・市役所六階 議会事務局
- ・市役所東庁舎一階 情報公開窓口
- ・市立図書館(四館) 出張所(十箇所)

※印の答弁者は表示者以外の関係部長等の答弁も含まれています。



P.川越 21 石川 智明  
**残業削減で緊急雇用創出を**

**問** 緊急雇用対策として、市職員が行っている年間約二十八万時間の残業を削減し、臨時職員採用を行うワークシェアリングは実施できないか？

**答** 市長 ※ 臨時職員採用については、事務の継続性、事務スペース確保、守秘義務等や長期雇用が保証されず、安定した就業形態が確保できないといった失業者の長期又は

正規雇用の意思と合致しない等課題があるが、今の雇用状況から緊急対応として時間外勤務時間の削減を見据えた中で、ワークシェアリングの視点にたち、臨時職員で対応可能な事務等の早急な検討に入るとともに、併せて国の緊急雇用対策の推進を図りたい。

緊急雇用対策  
カーブミラー設置基準



P.川越 21 倉嶋 美恵子  
**保育定員改善の検討組織を**

**問** 川越市の保育所待機児童は解消されず、子育てプランの目標も未達成である。中核市の中で最低の保育定員を改善すべく、検討組織を考えるべきだ。

**答** 福祉部長 子育てプランの目標事業量に向け、既存の保育所の定員の見直し、保育施設の増改築を進め定員増を図る等、早急な対応が必要であると認識している。

待機児童に対する課題を解決するためには、定員や財源などの課題があるので、総合政策部、財政部及び福祉部内の関係課等による検討組織を立ち上げ、既存施設の定員見直し、施設整備の在り方等の課題について施策の有効性、効率性、即効性などの視点からの検討を考えている。

子育て支援策の取組み



自民ク 神田 寿雄  
**霞ヶ関西地区に公民館を**

**問** 霞ヶ関西地区には、住民の教養の向上、健康の増進のための施設が不足している。この為、公民館建設を住民は切望しているが、市の考えは？

**答** 教育総務部長 公民館整備は「中学校区及び行政区」を勘案し、未設置地区解消に努力しており、仮称霞ヶ関西公民館等建設事業を実施計画に位置付けている。地元の要望

する建設候補地が市見解と異なり検討を繰り返したが、検討結果の提言から仮称霞ヶ関西公民館建設候補地の方針決定を行いたい。二十一年度中に候補地の地質調査、測量を行い、仮称霞ヶ関西公民館建設検討懇話会の設置及び施設内容の検討をし、次年度以降基本設計実施設計に進みたい。

霞ヶ関西公民館の建設



自民ク 関口 勇  
**学校生活でのトイレ問題**

**問** 学校生活でのトイレの問題を含め、和式トイレの使い方とトイレ掃除の指導をどう考えるか。

**答** 学校教育部長 家庭と異なるトイレでの排泄・処理方法に慣れるまで不安を感じたり、恥ずかしい等で我慢等する児童がいることや怪我等の児童・生徒の為にトイレ整備の問題がある中、和洋式トイレの使い方指導は

入学当初に実態に応じ排泄後の処理方法等、絵等を使い、実際のトイレで確認している。我慢や恥ずかしがらなくてよいことも指導し、生活リズムに合わせた排泄習慣について家庭と連携している。掃除は各校とも自主的な清掃活動に取組めるよう、掲示物等を作成するなど工夫して指導をしている。

小学校のトイレの環境



無所属 須賀 博  
**高齢者福祉の今後の対策**

**問** 川越市も今後、高齢者の増加が予想されるが、在宅介護支援センターと地域包括支援センターの役割と対応について、市の対策を伺いたい。

**答** 福祉部長 在宅介護支援センターは、要援護高齢者等からの相談に応じ、介護等のニーズに対応した各種保健、福祉サービスを総合的に受けられるよう関係機関との連

絡調整等を行っている。地域包括支援センターは、地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行い、保健医療の向上と福祉推進を包括的に支援する中核的機関である。今後とも両センターの体制の見直し等を検討しつつ関係機関との連携を強化し、地域ケア体制を構築したい。

高齢者福祉の指針



啓政会 山口智也 6

### 鏡山酒造跡地の整備と今後

**問** 鏡山酒造跡地について、市は平成十八年に取得して以来順次整備を進めて来たと思うが、今後の利活用方法、オープン時期、愛称等を伺いたい。

**答** 産業観光部長 施設の運営管理は、指定管理者制度を導入し、独立採算型の運営による民間の経営資源や、創意工夫による質の高いサービスの提供を考えている。指定管

理者の指定の議決後に内装等の工事に着手する為オープンは平成二十二年十月頃となる。オープンまでの間は、「つばさ」関連の展示、市内農産物の直売、イベントスペース等での活用を予定している。また、愛称は市民の公募により決定したい。

**問** 連続テレビ小説つばさ  
**問** 旧鏡山酒造跡地の整備  
**問** 旧織物市場等の活用



無所属 川口啓介 7

### 児童遊園での除草剤禁止を

**問** 自治会管理である児童遊園の除草作業は、約九割が市で配布した除草剤で行っている。安全上、環境配慮の面からも使用を禁止すべきではないか。

**答** 市長 ※ 自治会の負担を軽減するため、要望する自治会に「カソロン粒剤6・7」という除草剤を配布している。この薬剤は危険有害性の分類基準に該当せず、環境への

影響が少なく、比較的安全性が高いとされている。また、使用の際は、児童遊園利用者や地域の皆様への十分な周知、安全対策の履行をして下さるようお願いしている。

しかし、児童遊園での除草剤の散布は、子供の安全に関わる問題であるので、少なくとも四年の内には全部やめたい。  
**問** 児童遊園の除草剤使用



市フォーラム 牛窪多喜男 8

### 食育への川越市の取り組み

**問** 高齢者の食育が成されていないと各報道で聞くが、精神のバランスや病気の予防に食育が大切だと思うが、市はどう取り組むのか。

**答** 保健医療部長 高齢者にとつて「食べること」は、楽しみや生きがいの上からも大変重要であり、「食べること」への支援は、栄養状態を改善し、身体機能や生活機能を維

持・向上させ、生活の質の向上にも通じている。高齢者の食事についての教育は、総合保健センターや地区公民館などで栄養改善を目的とした健康教室や相談会を開催しているが、今後、庁内の高齢者福祉部門、老人会や関係団体・関係機関などと連携してさらに推進してまいりたい。

**問** 食育への市のとりくみ



公明党 大泉一夫 9

### 農業産出額への市長の目標

**問** 川越市の農業従事者の減少や遊休農地の増加の主な原因は、農業算出額が低い事にあると思うが、市長の農業政策に対する生産目標を伺いたい。

**答** 市長 後継者の不足や離農、耕作放棄地等の背景には、農業所得の低迷があると考えます。今後は、現在八十億円程度の農業算出額を百億円程度にすることを目指し、農業所

得向上の視点から施策を進め、経営の安定を図る。農業振興にあたっては、農業活性化のための域内流通を活かした地産地消と、我が国の自給率向上を担うべく生産量を拡大すること、そうした施策の基本となる農地の保全についてを施策の柱として推進していきたい。

**問** 農業対策と農業体験  
**問** 市職員の時間外勤務



公明党 桐野忠 10

### 高齢者とのふれあい事業

**問** 認知症予防に若い人との交流は効果的だと考える。市内四大学に働きかけ、音楽・スポーツ・文化での高齢者ふれあい事業を行ってはいかがが?

**答** 福祉部長 市としても市内四大学を大きな社会資源と認識し、十九年十一月に四大学と「川越市と市内大学との連携に関する基本協定」を締結した。この協定では連携事

項の一つに保健・福祉の充実に関するものを掲げている。今後想定される連携事業には、福祉ボランティア、高齢者のグループ活動等での音楽活動を通じたサポート、市民へのスポーツ施設開放事業等があり、これらを踏まえ高齢者とのふれあい事業の実施を検討したい。

**問** 高齢者福祉の充実  
**問** 学校と家庭を繋ぐ対応



公明党 若狭みどり 11

### ファシリティマネジメント

**問** 今後二十十年の間に百を超える公共施設が耐用年数に達し、費用は膨大と予測される。社会資本マネジメントとファシリティマネジメントの違いは。

**答** 財政部長 第三次総合計画では社会資本マネジメントの取り組みとして、社会資本の整備更新計画の策定、PFI等の民間活力の活用、保有財産の有効活用等を掲げている。

これは保有資産を経営的視点から捉え、管理経費の最小化や施設効用の最大化を図るファシリティマネジメントと考え方の基本的部分で一致しており、今後更にこの考え方を取り入れることで、社会資本マネジメントの効果を高めることが出来る。

**問** 髓膜炎予防  
**問** 読書運動の推進  
**問** マネジメント





やまがき 同志会

### 富士見有料道路の安全対策

12

**問** 富士見・川越有料道路は無料化に伴い、交通量の増加が見込まれる。交差点や中央分離帯開放箇所等を再点検し、事故防止を図るべきではないか。

**答** 建設部長 八月からを予定する無料化に向けて警察等と協議を行った結果、市道五〇一七号線との交差点改良は、開口による市道の交通量増加対策として周辺道路整備等

について今後検討していきたい。また、渋井や古

市場地区の信号交差点以外の箇所の中央分離帯の封鎖については、地元自治会等に理解を求めるところである。市道〇〇二六号線との交差点での信号機設置は、警察と協議した結果、交通渋滞を誘発するため慎重に検討するよう指導を受けた。

**問** 富士見有料道路無料化



やまがき 同志会

### 市民ニーズ対応の農業施策

13

**問** 本市における地産地消や農とのふれあい、食育の推進など市民ニーズに対応した農業施策の取り組みについて市長はどのように考えているのか。

**答** 市長 本市の農業振興を図るために、生産者と消費者のふれあいの場等の開催により、積極的に地産地消の浸透を図っていききたいと考える。また、次世代を担う子

供たちに収穫の喜びや自然、食についての理解を深める農業体験等積極的

へに参加により、農業を更に知って頂くことが、農業経営の活性化、多くの問題解決に貢献できる

と考え、引き続き関係機関との連携強化を図りながら取り組んでいきたい。  
**問** 農業を通じ食育の普及



やまがき 同志会

### 北環状線事業の進捗状況

14

**問** 市道〇〇一七号線から南の、川越西郵便局までの工事は、用地買収や地権者の要望等をクリアし、地元の安全を確保した上で進捗しているのか。

**答** 建設部長 県土整備事務所によると、二十四年度末の完成を目指し市道〇〇一七号線付近及び橋りょうの工事を進めているとのことである。事業用地の約九十一％は買収

済みであり、代替地等の調整を行いながら今後とも用地交渉を継続してい

く。地元から受けた要望に対しては環境予測調査の結果を踏まえて沿道の環境対策に努めたい。また安全安心を最優先とした道路計画を警察や市と連携を図り、整備に努めてまいりたい。

**問** 川越北環状線整備事業



無所属 小野澤 康弘

### 観光政策と経済波及効果

15

**問** 国は観光振興による経済効果やその波及効果として雇用創出や付加価値効果を公表しているが、本市の観光による経済効果又波及効果はいかがか。

**答** 産業観光部長 観光振興が図られ、観光関連産業に対する直接的な消費効果や雇用創出効果に加え、他産業にも波及する「経済波及効果」が生み出される姿が望ましいと

考えている。市ではこれまでに観光アンケート調査を実施し、観光客一人あたりの平均消費額から経済効果を試算した結果、平成十七年が約六十八億円、平成十九年が約八十九億円となった。経済波及効果は捉えにくい部分もあるが、今後、算定の方法も含め研究したい。

**問** 観光政策の諸課題



民主党 片野 広隆

### 不妊治療への支援策の拡充

16

**問** 困難や苦痛を乗り越え子供を授かりたいと治療を受ける市民の多くが現行制度では支援を受けられない。一般不妊治療へ支援拡充を図るべきでは。

**答** 保健医療部長 不妊に悩み、治療を受ける夫婦が増える一方、経済的理由で治療を諦めざるを得ない状況もあり、一般不妊治療助成への要望を承知している。通常、多く

が医療保険適用の各種一般不妊治療をしても妊娠に至らない場合は特定不妊治療を試みるが、特定不妊治療は医療保険適用外であり費用負担が高額となる為、国の要綱に準じて助成している。今後は他市の実施状況等参考に財政状況等見極め、一般不妊治療の助成を様々な角度から検討したい。

**問** 川越市の母子保健事業



市フォーラム 高橋 剛

### 自殺予防対策を総力挙げて

17

**問** 市民の命を守る観点から自殺予防を当該部署の連携と総力を挙げて行っていたきたい。その際

**答** 市長 自殺は家族や周りの人々にも大きな悲しみや心の傷をもたらす。現在の深刻な経済状況下では、自殺の社会的要因である失業や多重債務問題が深刻化する懸念があ

る。失業問題では国の果たす役割が大きいが、市としても緊急雇用対策等に取り組みつつ、保健所を中心に商工振興課や生活情報センター等の関係部署及び関係機関のネットワークを密にした体制整備を図り、できる限り自殺をゼロに近づけるために総力を挙げる。

**問** 理科教育の推進





公明党 清水京子 18  
川越市駅西口の早期実現を

**問**川越市駅のバリアフリー化と駅前整備の必要性・西口開設の見通しについての今後の考え方を伺いたい。

**答**市長※ これまでも利便性向上のために市駅の整備を東武鉄道に申し入れてきたが、バリアフリー化は二十二年度に実施し、その他は駅の全体整備計画の中で検討するとの意向である。市の財政

状況も非常に厳しく、西口開設を含む駅周辺地区の抜本的整備の早期実現は難しいが、費用対効果から事業を選択し、重点的に取り組む必要がある。特に、鉄道による分断解消のため要望が強い横断歩道橋設置は、鉄道事業者と継続的に協議したい。

**調**市駅前整備・西口開設  
**調**観光行政  
**調**青少年の健全育成



公明党 近藤芳宏 19  
プレミアム付き商品券発行

**問**つばさ放映や国の緊急対策と連動した、短期的・集中的な地域振興の刺激策として、プレミアム付き商品券の発行について、どのようにお考えか。

**答**市長※ 定額給付金を地域活性化につなげるプレミアム付き地域商品券の発行は、消費効果はあると認識している。これについては、小江戸川越小判や財源の確保等の問

題もあるため、消費の拡大につながる施策に地域商品券も含め検討の対象として、川越商工会議所や川越商店街連合会、そして各商店街と知恵を出し合って、六月補正で対応できるような短期的・集中的な刺激策を検討していきたいと考えている。

**調**行財政改革推進の課題  
**調**第三次後期基本計画  
**調**地域振興の刺激策



民主党 山木綾子 20  
業務上横領事件の調査報告

**問**財団法人青少年健全育成協会から、元市職員による業務上横領事件に対して調査の結果報告があったが、市としては市民への報告はどうするのか。

**答**市長※ 協会での元市職員による業務上横領事件の引継を受けている。また、調査結果で明らかになった使途不明金等総額五千五百六十三万二千七百五十五円から示談金

額二千百万円を引いた残額三千四百六十三万二千七百五十五円を協会の損害額と認め、元市職員にその全額を損害賠償請求する二月五日付の理事会決議の報告も受けている。記者に対してはパブリシティをしており、また、三月二十五日付の市広報で報告書内容を報告する。

**調**これからの教育委員会  
**調**業務上横領事件



啓政会 松井 釜太郎 21  
新清掃センターの地元対策

**問**新清掃センター建設に係る地元対策として、なぐわし公園と北側の地区に人と軽車両が通れる橋を架けることについてどのように考えるか。

**答**市長※ 新たな橋の建設については、なぐわし公園建設地周辺の道路網による交通環境の変化の状況を見極める必要があると考えている。また、河川管理者との協議も必

要であり、平成十九年度に一級河川小畔川を管理している国土交通省荒川上流河川事務所と新橋の建設に関する見解を確認する協議を行った。今後、当地域の状況を踏まえながら、交通量の変化や対岸地域からの要望等の諸問題について検討してまいりたい。

**調**新清掃センター諸問題  
**調**現市庁舎に関する問題



民共党 柿田有一 22  
育ちささえる立場で保育を

**問**学童保育や保育は子どもの成長を第一に考え、育児と仕事を両立する生き方を保障する重要な施策と思うが市長の考えは。

**答**市長 子どもたちは、未来の担い手であり、大切に育んでいかなければならないと思っている。保育体制等が整わず、少子化が進むことは、社会の成り立ちにも影響を与えることになる。未来

を担う子どもたちの健やかな成長のためには、行政はもとより保護者や事業者、地域の方々等社会全体で取り組む必要がある。待機児童対策は一番重要な課題であり、学童保育や保育は重要な政策と認識しており、優先度が高い事業として、積極的に取り組んでいきたい。

**調**子供の育ちをささえる  
**調**下広谷南公民館



民共党 川口知子 23  
生活困窮者への支援体制

**問**病気や失業等で生活に困っている人が必要な支援を受けられるよう様々なセイフティネットをいかに機能させるのか、市長の見解を伺う。

**答**市長 生活困窮者への対応は、一般的には生活保護制度によって担当部署が対応している。しかし、セイフティネットは生活保護だけではない。生活困窮者は、市の福祉

関連部署、税の関連部署、保健医療関連部署など様々な窓口相談に訪れる。これらの関連部署の協力体制を整備することで、相談者が混乱しないように滞納、就労、医療等の救済メニュー情報を窓口で提供できるよう努め、相談体制、支援体制を充実させていきたい。

**調**セイフティネット  
**調**川越駅西口の諸問題



梶野 本山 修一 24  
借りやすい融資制度実現を

**問** 百年に一度の経済危機のなか、中小業者へ借りやすい融資制度実現へどのように取り組むのか。

も市内中小企業を対象に緊急経営実態調査で、利率の低い融資、据え置き期間の長い融資、申し込みから実行が早い融資等を求める経営者の声を聞いている。今後早急に、利用しやすく実績が上がるような融資制度を金融機関や埼玉県信用保証協会とすすめたい。

**答** 産業観光部長 平成二十年度に、大田区や世田谷区で区が利子補給を行う融資制度を新たに設けている他、蔵市は二十一年度の当該年度融資分限り、市が利子を一年間補助して無利子にする新規事業を始める。本市で

市民のくらしを守るため川越駅東口と周辺対策



梶野 佐藤 恵士 25  
経済危機と市の対応

**問** 不況対策の施策を早急に市民に発表すべきだ。市民に不況に敗けずがんばろうのメッセージを。

を出すことについては、経済的に今の不況の中で困っている市民の方々に對して、こういう経済対策、雇用対策を打ち出した。市としてはこのような対策を考えているというようなことを決め、それを発表し、実行することによって励ましの意味になると考えている。

**答** 市長 これから六月の補正予算に向けて、緊急経済対策を順次考えて実施していきたい。その中で決まったことはなるべく早い時期に発表していきたいと考える。

また、励ましの意味で市民に対してメッセージ

また、励ましの意味で市民に対してメッセージ

また、励ましの意味で市民に対してメッセージ

景気悪化と行財政運営  
川越市協働指針

# 特集

## 川合善明新市長の市政の方針を受けて

### 啓政会

- 久保 啓一
- 荻窪 一郎
- 稲浦 敏雄
- 吉田 光雄
- 山口 智也
- 松井 釜太郎
- 山口 肇
- 新井 喜一
- 大河内 衍
- 石川 良三郎



をお聞きするとともに、継続性を考慮した事業の推進、公正で公平な市政運営のための市民対話の重要性、生活を重視した施策の推進などについて質しました。

多くの政党などから支持を受けている市長は、新たな市政運営について多面に渡り苦勞するのではないかとの問に對し、市長から「一部から強い支持を得るより、広く均等に支持をいただいたほうが公平な立場でいられると思う。いずれにしても、公正・公平な立場で市政運営を貫く所存であります。」との答弁があります。今後の政治姿勢をあらためて確認しました。

#### 行政の継続性について

また、市民の立場に立つた公正・公平な市政を運営するためには、市民の声を聞くことが重要であると思うが、具体的な取り組みはあるかとの問に對して、「地域に向き、直接市民と話し合う機会を設けたい。こうした中で、市民の望むものを実現できるように一緒に考えたい。」と述べられました。

十六年間の舟橋市政の評価と、継続すべき事業の今後の考え方について市長は、「環境対策の推進や、観光都市として川越の名を広めたことなどの功績は大きい。一方で都市基盤整備など、遅れが見られる分野については今後積極的に取り組んでいきたい。事業の継続や見直しは市民の利益になるかどうかで判断したい。」と答弁されました。

これに對し議員は、行政は継続性が重要であり、特にこれまで市民との協議を経て進めてきた事業等は、こうした経過も十分考慮し、市民に信頼される行政運営を進めるべ

平成二十一年第一回定例会において、川合善明新市長から市政方針が示されました。これに對して、啓政会からは山口智也議員が質疑に立ちました。そして新市長の考え



### 生活重視の施策推進を

この問題について川合善明市長は医師不足解消に向けた新たな医師育成

制度などの導入や、不況で解雇されたパート、非正規雇用者の児童への保育園入所対策や、生活を重視した施策の重要性について意見を述べられました。また、医師不足解消に向けては、「今後、

県の取り組みなどを参考に関係機関と協議していきたい。」さらに待機児童問題については、「保

育所定員の増大や家庭保育室への助成、幼稚園の預かり保育を充実させるなど、待機児童の減少に努めたい。」との回答を得ました。

また、議員はその他にも今後の観光問題・市街地における慢性的な交通渋滞の解消、生活に直結した重要な課題等、今後

の市政運営に

向けて川合善明市長に質しました。



啓政会は、これまで常に市民の皆様の声を市政に反映させるよう活動してまいりました。

今後も市民の皆様の声を市政に届け、川越市政の発展と地域の活性化に向けて努力してまいります。

### 公明党議員団

清水京子

桐野忠

若狭みどり

大泉一夫

近藤芳宏

小ノ澤哲也

石川隆二

世界を取り巻く金融危機、その影響を日本そして川越市も大きく受けているこの時に、先般の市長選挙において多くの市民の負託を得て誕生した川合市長には、自らの

「市長の給与と退職金を見直し、二十%の削減に

取り組む」との改革の姿勢、また川合市長の「市民一人ひとりが川越に住むことに誇りを持ち、終

のすみかとして川越を選んで良かったと思えるま



「スト」を掲げ、少子化対策を打ち出しておりますが、市長の「乳幼児健診の充実や保育園の待機児童の減少」への施策には期待をしております、児童・生徒の命を守る視点での「小中学校の耐震化を最優先課題として実施する」との考えにも議員団として評価をいたします。

今回は市長が市政方針の中で述べられた公約に掲げていた「五つのかわごえづくり」に対する議員団の見解を中心に述べさせて頂きます。

一つ目の「まちづくり」では中心市街地における交通渋滞緩和の為に交差点改良を含める施策に期待をしています。

二つ目の「ひとづくり」においては、公明党は「チャイルド・ファール

スト」を掲げ、少子化対策を打ち出しておりますが、市長の「乳幼児健診の充実や保育園の待機児童の減少」への施策には期待をしております、児童・生徒の命を守る視点での「小中学校の耐震化を最優先課題として実施する」との考えにも議員団として評価をいたします。

三つ目の「くらしづくり」の点では、「斎場の建設」への決意に対し信念を貫いて頂きたいと思

四つ目の「しくみづくり」については、より一層の透明性の高い契約制度の確立と共に、限りある財源を選択と集中、そして無駄を無くしての行

五つ目の「げんきづくり」では、公明党議員団が以前から要望して来た「子ども医療費の無料化を小学校三年生まで拡充していききたい」との川合市長の前向きな姿勢を大いに評価いたします。



今後の市政運営に関しては、行財政改革を進めるため、また高齢者福祉・障害者福祉を守り、教育・文化・スポーツ・環境・観光など、様々な点を川合市長と、是非々々で議論していきたいと思

私

### プロジェクト川越21

中原秀久

石川智明

倉嶋美恵子

小林薫



私たちは川合新市長の市政方針を評価し今後にも期待をします。特に厳しい経済と雇用の現状を考えますと、川越市における行財政改革を真剣に取り組む姿勢を応援します。今後の人口減少社会に向かつて効率的行政システムを創るにはラストチャンスかもしれません。川合市長は市立大学構想を撤回し市立川越高校における中高一貫校の設置推進を打ち出しました。また保育園の待機児童数の減少に取り組むなど今後の川越市を担う「人づくり」を重点項目に挙げています。厳しい財政状況の中で毎年の敬老週間に配られる健康長寿奨励金は今年度が二億四千万円ですが数年で三億円を超えます。市長答弁も検討の方向でしたが、この際、先輩諸氏にご協力を呼びかけてこの財源を若者の雇用創出や子育て支援に組み替える位の英断が求められると考えます。

市役所問題は「市庁舎

建設特別委員会」の検討過程と市民の声を尊重するとし、西口移転構想を白紙に戻しました。三年後に川越市は市制九十周年を迎えます。私たちも市役所問題は後世に残る大事業として慎重かつ幅広い意見を吸収しながら築く事業であるべきだと考えます。また、市民と

曾有の深刻な経済危機に直面しています。雇用不安が広がり、市政方針でも「多くの人々が現状に不安を抱え、将来に希望を見出せずにいる」と示されています。

日本がこれだけ深刻な事態に陥った原因は、外需に依存し内需を軽視したこと、派遣労働を拡大し雇用を不安定にしたこと、社会保障削減でセー

フティネットを機能不全にしたこと、構造改革と称し地方財源を削ったことなど、政治の責任です。

不十分な緊急対策  
しかし、市政方針や新年度予算では、職や住む場所を失った人、中小業者など、困っている市民への対策は極めて不十分なものです。雇用や経済

対策、市営住宅を提供するなどあらゆる手立てを尽くしての対応が、ただちに求められています。

また、市民の相談に対し必要な援助が受けられるよう、市が一丸となって対応する必要があります。

### 日本共産党議員団

佐藤 恵士

柿田 有一

川口 知子

本山 修一

いま、世界と日本は未

### 憲法を生かす市政を

憲法への認識について市長は、九条の平和原則は「先の悲惨な戦争をふまえ世界の恒久的な平和実現のためたいへん意義の重い条文」、二十五条の生存権については「日本の福祉国家理念をあらわすもので重要な権利」と答えました。

福祉を守る改革を  
行財政改革に対する考えは、民間活用を徹底や費用対効果が述べられて

います。福祉や教育など行政本来の役割が形骸化しないかの指摘に対し、「福祉を後退させないための改革が必要」と表明

しました。福祉を守り充実させる立場での行政運営を引き続き要請します。

汚職・腐敗のない市政へ  
市政方針には汚職・政治腐敗に対する言及がありませんでしたが、過去に起きた不祥事を再発させないためにも、清潔で

透明な市政運営が求められます。

また、市民の相談に対し必要な援助が受けられるよう、市が一丸となって対応する必要があります。

対応する必要があります。



### やまぶき同志会

江田 肇

若海 保

三上 喜久蔵

新井 金作



この度、新党派「やまぶき同志会」を結成いたしました。やまぶきは、

川越市の花であります。市民に親しまれ、草勢たくましい花にちなみ会派の名称といたしました。

四人でのスタートとなりましたが今後ともご指導のほどお願いいたします。

新市長の「市政の方針」を受け、代表が質疑を行い各議員も別掲のよう

に一般質問を行いました。市政の方針については、市政運営の基本姿勢

として、改革・公正・公開を掲げておりますが未曾有の経済情勢や社会情勢を考えると、改革は喫緊の課題であり、市民の信頼を得るために、公正・公開を旨とするは当然の事と思えます。そして五つの「かわごえづくり」も三十三万・中核市を更に発展、充実させるビジョンとして都市基盤の整備や福祉の充実、そして教育や文化、スポーツの浸透、産業、観光の振興を旨とすることは評価いたします。質疑の中で特にお尋ねした教育と農業について、中高一貫校の設置は川越の教育の原点となるよう期待すると共に、これからの激動の社会を生き抜くために、確かな学力、豊かな人間性、健康や体力の「知・徳・体」をバランス良く育む教育をして頂きたいと思えます。農業では、いま世界的な経済不況で地域経済や雇用不安から農業に関心が集り、これからは「農業の時代」だ

と言われておりますが、自給率の問題、食育や経営を課題とし、私共会派は農業、教育そして品格あるまちづくりを推進する川合新市政に大いに期待しております。

### 自民クラブ

吉敷 賢

関口 勇

神田 寿雄



市政方針について

川合善明市長は就任後の市政方針演説で「改革」、「公正」、「公開」をあげて、行政改革を行い、選挙公約に掲げた五つのかわごえづくり「人・まち・くらし・しくみ・げんき」を進めていく基本姿勢を明らかにしました。

全体的に広い分野に配慮したもので、特に公正さを重点に市政を改革し

全体的に広い分野に配慮したもので、特に公正さを重点に市政を改革し

たいという意気込みが感じられ、議会にも支援を呼びかけました。

就任直後の今議会では骨格予算の編成となり細部は六月になる内容もあります。

### 民主党議員団

山木 綾子

片野 広隆

三つの基本姿勢の中で「改革」については市長の給与と退職手当を見直し、二十%の削減。多選による市政の硬直化を防ぐため三期十二年間務めたいと意向を示され又厳しさを増す財政状況を踏まえて、人的物的資源を市政運営に最大限に活用する事をあげ、徹底した行財政改革を行なう事は、自民クラブも一緒になって財政健全化に向けて最重要課題として取り組んでいきたいと思えます。

民主党議員団は、過日行われました市長選におきまして川合市長を支持しました。

今後は、市政の執行側と、議会人として、それぞれの立場において、市政運営に全力を尽くしてまいりたいと考えます。

新市長の市政方針では、様々な思いが伝わってきました。

二十一年度一般会計予算については、骨格予算と言いつながら、職員退職金積み立て基金及び、財政調整基金を取り崩して、前年度を二・二%上回る予算計上には、いささか疑問が残りました。

しかし、長年の懸案事項であった、市立大学設置にあたっては、「少子化の折、私立大学が定員

するものです。清新な発想の大胆な改革への意気込みを評価します。

割れを起こす中で、入学者が集まるか疑問に思うと共に、財政的にも厳しいものがあるので、この事業からは撤退する。」と表明されました。

また、多くの市民の関心が大きかった、川越駅西口への、新市庁舎建設についても、「決定までの経過の不透明性などがかんがみて、白紙に戻し、市民の皆様と議会ともよく話し合い、意見交換をした後に、結論を出したい」と、この二件の事業については、事実上の撤退を表明したことには、敬意を払うと共に、支持をしたいと思います。

### 市民フォーラム

牛窪 多喜男

高橋 剛

市民フォーラムは、現下の厳しい社会・経済情勢下で、市民の暮らしやいのちをしつかりと支える行政のあり方が問われているとともに、先送りされてきた政策決定を速

やかに言い、市民の負託に応えていくべきであるという認識のもと、川合善明市長の「市政の方針」について、その考えを問いました。

### 無所属 川口 啓介

「行財政改革」を推進するにあたって市長は、身の丈にあつた財政運営を行うために「標準財政規模」の視点に立った「行財政運営」を、また、「かわごえらしさを発揮するための余地を持った『経常収支比率』を確保すること」、さらに臨時・突発的な経費に対する当座の備えである「一定程度の『財政調整基金』の確保」を目指していくことを明らかにしました。

と考えます。その際、市民の多くが親しむペットの斎場も合わせて実現できるような要望してまいります。

厳しい財政状況の中で、市政運営の基本姿勢として「改革・公正・公開」の三つを掲げられました。誰もが望むこの姿勢には私も共感しております。私は一議員の立場から取り組んで参ります。

今後の本気の取り組みに期待しております。

### 無所属 須賀 博

新市長は、市政の方針のなかで、その基本姿勢として、改革、公正、公開の三つを掲げ五つの「かわごえづくり」の実践に向けて、全力を尽くすと約束しております。

新しい川越づくりに、大いに期待し、また協力をしたいと考えております。

### 無所属 小野澤 康 弘

市長の市政方針では特に行財政運営の見直しを主要な課題としてあげております。

厳しい時代背景であるがゆえ、更に無駄を省き市民サービスの向上をめざすバランスの取れた行財政運営に期待するものであります。

### 無所属 加藤 昇



「かわごえまな課題に對し、勇気を持って決断します。川合市長の言葉です。地方分権時代の新市長として、国・県に対しても、ものが言える首長になって頂きたい。私も議会では是々非々で対応致します。



# 議会構成

## 新議員を紹介します

一月二十五日執行の川越市議会議員補欠選挙により、次の議員が当選されました。



氏名 須賀 博 (スガヒロシ)  
 議席番号 第8番  
 住所 旭町1丁目2番地46  
 所属委員会 総務常任委員会  
 所属党派 無所属で活動  
 当選回数 1回

### ▽ 議席の決定及び一部変更について

所属党派変更等に伴い、議席番号を変更しました。議員議席番号は、下表「会派構成」及び左図をご覧ください。

〈議場内配置図〉



「会派構成が変わりました」「やまぶき同志会」が結成され、会派数は八団体となり、無所属は四名となりました。

### 〈会派構成〉

#### 啓政会 (十人)

- ◎久保啓一<sup>37</sup> 松井釜太郎<sup>29</sup>
- 萩窪一郎<sup>18</sup> 山口 肇<sup>30</sup>
- 稲浦敏雄<sup>19</sup> 新井喜一<sup>38</sup>
- 吉田光雄<sup>20</sup> 大河内 衍<sup>39</sup>
- 山口智也<sup>28</sup> 石川良三郎<sup>40</sup>

#### 公明党議員団 (七人)

- ◎清水京子<sup>27</sup> 近藤芳宏<sup>17</sup>
- 桐野 忠<sup>6</sup> 小ノ澤哲也<sup>26</sup>
- 若狭みどり<sup>7</sup> 石川隆二<sup>36</sup>
- 大泉一夫<sup>16</sup>

#### プロジェクト川越21 (四人)

- ◎中原秀久<sup>33</sup> 倉嶋美恵子<sup>23</sup>
- 石川智明<sup>22</sup> 小林 薫<sup>32</sup>

#### 日本共産党議員団 (四人)

- ◎佐藤恵士<sup>31</sup> 川口知子<sup>12</sup>
- 柿田有一<sup>11</sup> 本山修一<sup>21</sup>

#### やまぶき同志会 (四人)

- ◎江田 肇<sup>35</sup> 三上喜久蔵<sup>15</sup>
- 若海 保<sup>5</sup> 新井金作<sup>25</sup>

#### 自民クラブ (三人)

- ◎吉敷 賢<sup>34</sup> 神田寿雄<sup>24</sup>
- 関口 勇<sup>14</sup>

#### 民主党議員団 (二人)

- ◎山木綾子<sup>2</sup> 片野広隆<sup>1</sup>
- 市民フォーラム (二人)

- ◎牛窪多喜男<sup>13</sup> 高橋 剛<sup>3</sup>
- 無所属 無所属
- 川口啓介<sup>4</sup> 須賀 博<sup>8</sup>
- 無所属 無所属
- 小野澤康弘<sup>9</sup> 加藤 昇<sup>10</sup>

《印は会派代表者》  
《氏名下〇内は議席番号 上記図参照》

▽ 川越市議会常任委員会委員の選任について  
須賀博議員を総務常任委員会委員に選任しました。

▽ 川越市議会運営委員会委員の辞任について  
小野澤康弘委員の辞任を許しました。

▽ 川越市議会運営委員会委員の選任について  
三上喜久蔵議員を選任しました。

### 市庁舎建設特別委員会

平成二十年第五回定例会で継続審査となっていた付議事件を審査しました。

#### ▼ 二月十日

東久留米市の行政視察を行い帰庁後、当日の視察及び、平成二十年十一月の福生市、所沢市の行政視察について意見交換を実施。今定例会開会日に、委員長報告が行なわれ、「継続審査」と決定しました。

### 広報紙編集委員会

所属会派の変更に伴い、加藤昇委員が辞任し、新たに若海保議員を委員に選任しました。

### 議場コンサート

二月二十五日に議場コンサートを開催しました。

市内の小中学校で体験学習の指導を行うほか、各地での演奏活動をしている箏曲演奏の「邦楽グループ山吹」により、筑紫歌都子作曲「さくら幻想曲」他一曲が演奏されました。



### 図書室委員会

所属会派の変更等に伴い、川口啓介委員が辞任し、新たに三上喜久蔵議員、稲浦敏雄議員を委員に選任しました。

### 第2回 臨時会から

専決処分の承認、条例の一部改正の二件を審議

平成二十一年川越市議会第二回臨時会は、四月十六日に開会され、議案二件を審議し、同日閉会しました。

▽ 専決処分の承認を求めることについて

土地に係る固定資産税・都市計画税の負担調整措置の継続等に係る市税条例等の一部を改正したものです。

▽ 川越市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

一 原案可決  
人事院勧告等の内容に準じて、医師及び歯科医師に係る初任給調整手当の改正をしたものです。

### 編集後記

今回号をもって現編集委員は任期を迎えます。二年間、より充実した紙面をめざし、特集記事の掲載やレイアウトの変更等、事務局とともに研修会にも参加し、改善を重ねてきました。まだまだ課題はありますが、今後も編集委員会では、皆様が読みたいと思える紙面づくりに努力します。

発行 川越市議会

編集 川越市議会広報紙編集委員会

電話 〇四九一三四一六六七